

第Ⅰ部 原始・古代
第1章 日本文化のあけぼの
3 古墳とヤマト政権 2

教科書 P.27～29

今回の学習範囲

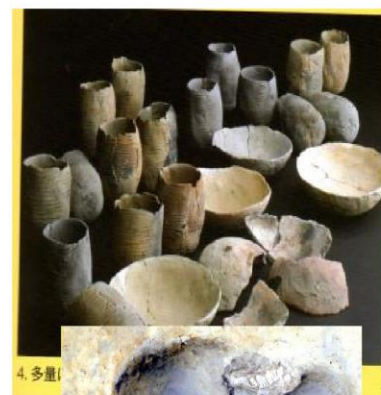
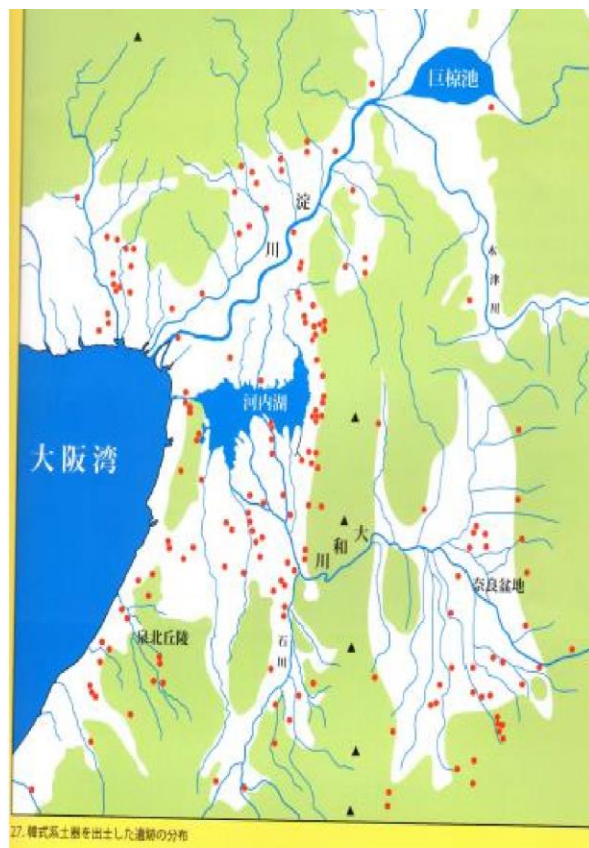
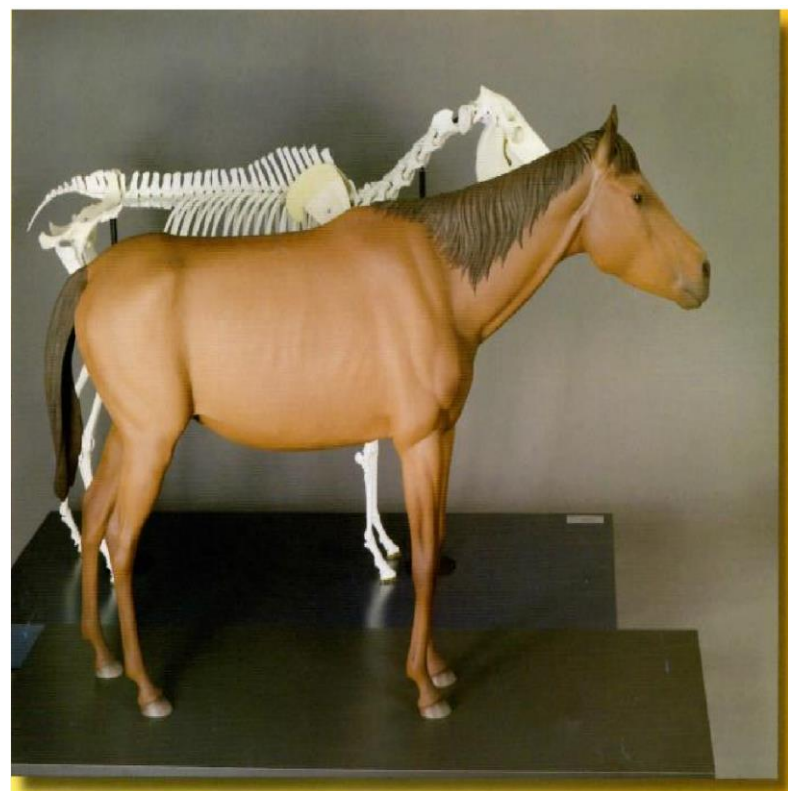
1. 渡来人と大陸文化
2. 東洋思想の伝来
3. 古墳文化の変化



1 渡来人の来朝

朝鮮半島や中国とのさかんな交渉の中で、進んだ技術や文化が主として朝鮮半島からやってきた渡来人たちによって伝えられた。

5世紀、何が最も重要とされたか？



2 渡来人の登用

ヤマト政権は渡来人たちを韓鍛冶部・陶作部・錦織部・鞍作部などと呼ばれる技術者集団に組織し、各地に居住させた

韓鍛冶部（からかぬちべ）：

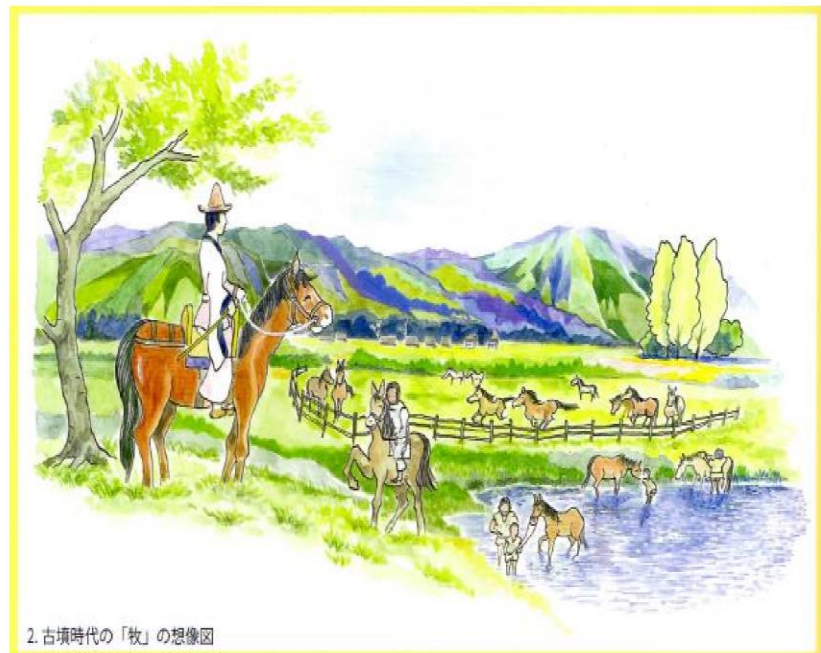
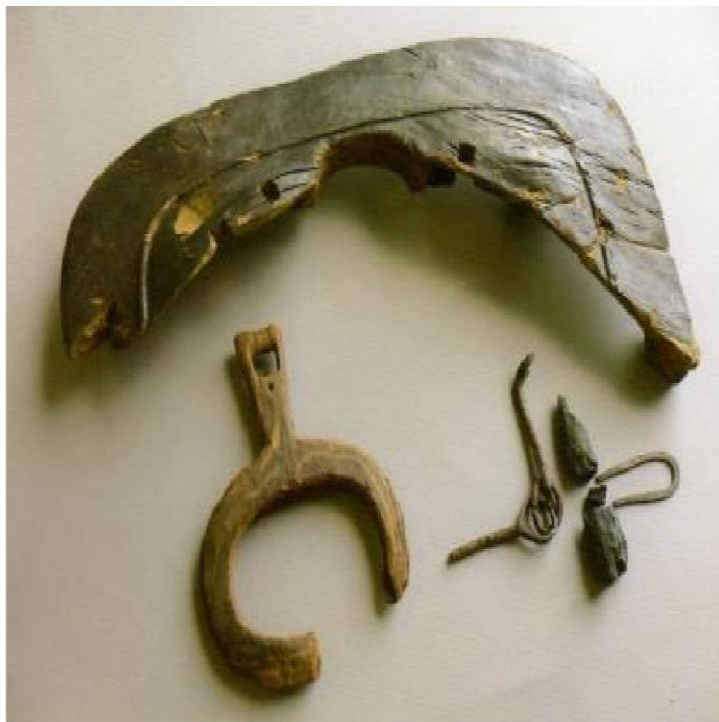
鍛鉄（たんてつ）→鉄製武器・農工具

陶作部（すえつくりべ）：

須恵器（すえき）、登り窯の技術

錦織部（にしごりべ）：**絹**織物の技術

鞍作部（くらつくりべ）：**馬具**の技術



2. 古墳時代の「牧」の想像図



3. ムチの柄（上）とブラシ
四條畷市奈良井遺跡



7. 金銅装の鞍の復原 羽曳野市誉田丸山古墳

渡来人の技術 須恵器

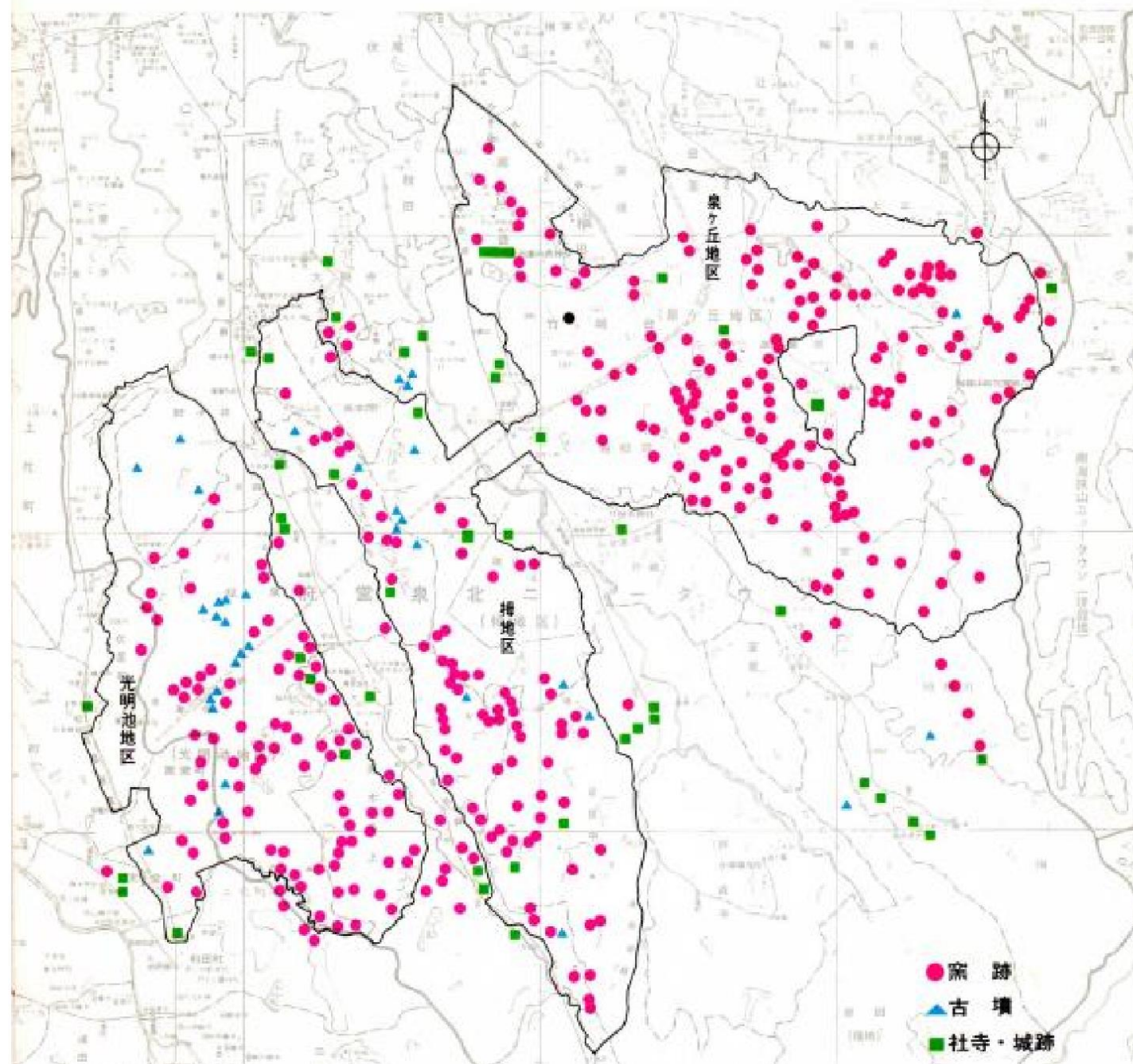


登り窯

いずみの国歴史資料館の大型須恵器



泉北ニュータウンの遺跡分布図





3 漢字の伝来

漢字の使用が始まり、漢字の音を借りて人名や地名などを書き表わすことができるようになった。ヤマト政権も（ア.史部）（ふひとべ＝渡来人）を用いた。

5世紀	渡来人	時代	本国	事 績	その他	
	ゆづきのきみ 弓月君	応神天皇のとき	百済	ようさん はたお 養蚕・機織りを伝えたという	はたうじ 秦氏の祖	産業・土木技術
	わに 王仁	おうじん 応神天皇のとき	百済	せんしもん 『論語』『千字文』を伝えたという	かわちのふみうじ 西文氏の祖	文字記録
	あちのおみ 阿知使主	応神天皇のとき	?	ふひとべ 文書記録を担当する史部を管理したという	やまとのあやうじ 東漢氏の祖	なぜ？

5～6世紀の渡来人

1 儒教の伝来

天文・気象学…農業に必須

6世紀には、百済から儒教が伝えられたほか、医・易・暦などの学術も支配者層に受け入れられた。

6世紀	ごきょうはかせ だん 五経博士(段 ように 楊爾以降, 交 替で渡来)	513年~	百済	儒教を伝える *五経=『書経』『易経』『詩経』 『春秋』『礼記』	国を治め るための 政治学
	しばたと 司馬達等	522年	りょう 梁?	大和国高市郡に建てた草堂 で仏像を礼拝。孫は鞍作鳥 (止利仏師)	鞍作氏の祖
	えき れき い 易・暦・医博士	554年	百済	易学(陰陽道)・暦法・医学 を伝える	

5~6世紀の渡来人

2 仏教の伝来

←「信じれば幸福をもたらす」という世界的な流行思想！

6世紀に百済の（イ.聖明王）が（ウ.欽明）天皇に仏像・経論などを伝えたとされる。一部の渡来人は、それ以前から信仰していた可能性がある。

6世紀	しばたと 司馬達等	522年	りょう 梁？	たかいち 大和国高市郡に建てた草堂 で仏像を礼拝。孫は鞍作鳥 (止利仏師)	鞍作氏の祖
	えき れき い 易・暦・医博士	554年	百済	おんみょうどう 易学(陰陽道)・暦法・医学 を伝える	
	仏教公伝：百済のせい(明)おうよりきんめい 欽明天皇の朝廷へ。公伝年には、下の2説がある。				
ほご 戊午年(538)：『上宮聖徳法王帝説』『元興寺伽藍縁起并流記資材帳』					
じんしん 壬申年(552)：『日本書紀』					

3 神話・伝承の成立

→自分の国の歴史や神話を文字で残そうとする。

8世紀初めの歴史書『古事記』『日本書紀』のもとになった「エ.**帝紀**」「オ.**旧辞**」が、6世紀にまとめられ始めたとされる。

1 後期の古墳

6世紀の古墳時代**後期**になると、古墳自体にも大きな変化が現われた。

2 古墳の多様化

従来の画一的な古墳の特徴に比べて、後期古墳は地域的特色が強くなり、多様化がみられる。

(1) 前方後円墳がなくなる

→ **円墳・方墳・群集墳**
など多様に

①大王・豪族などの**有力者の墓**は、従来の竪穴式にかわって朝鮮半島と共通の**横穴式石室**が一般化



装飾古墳：石室内部に壁画
例) **高松塚古墳、キトラ古墳**



中国、朝鮮半島に 共通する四神。

キトラ古墳壁画は、中国の伝統的な考え方にもと
づく世界観で石室内を満たすために描かれたと
考えられます。そのため、中国や朝鮮半島など東
アジアの古墳に見られる壁画と共通の画題を
もっています。壁画を描いた画師も、^{とらいけい}渡来系の画
師集団ではないかとする説があります。

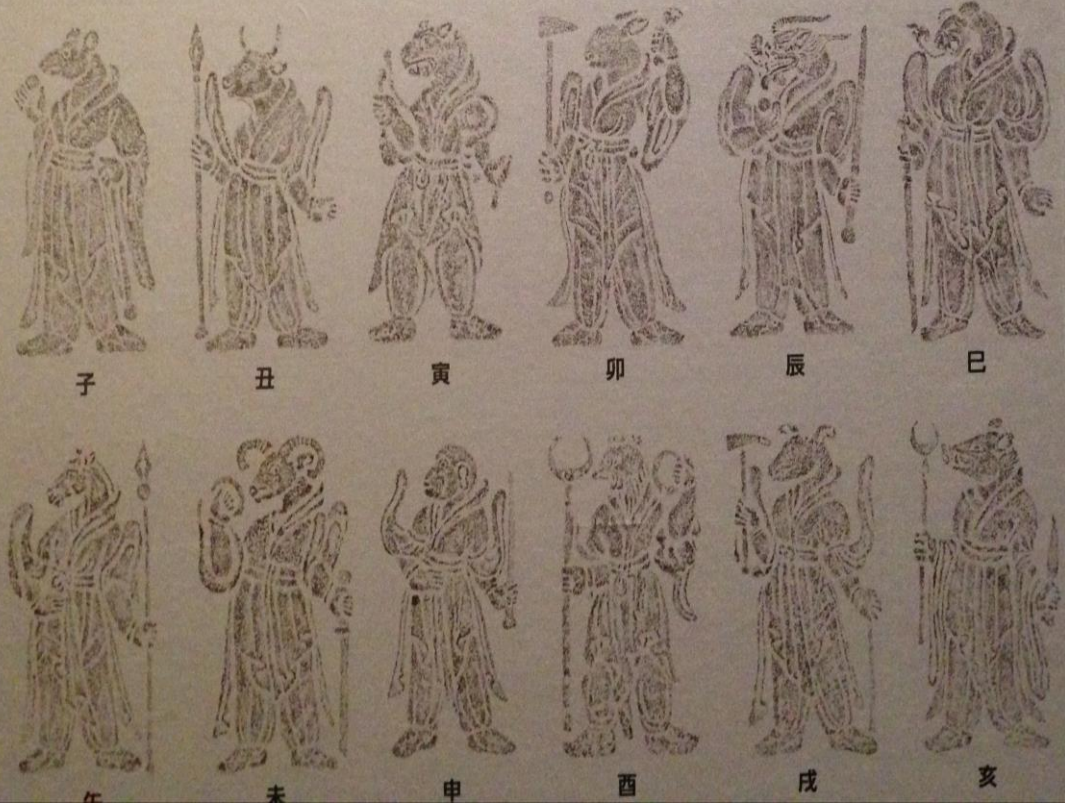


蘇思房墓 墓壁北壁 玄武図



高句麗古墳群の江西中墓に
描かれた朱雀

古墳 キトラ



② 埴輪も多様化した。

・ 道具を表わす**器材埴輪**だけでなく
人物・動物埴輪などの**形象埴輪**が
増加

なぜ？ ⇒ 葬送儀礼ないしは生前の
有力者が儀礼の様子を後世に残そう
としたものと考えられる。

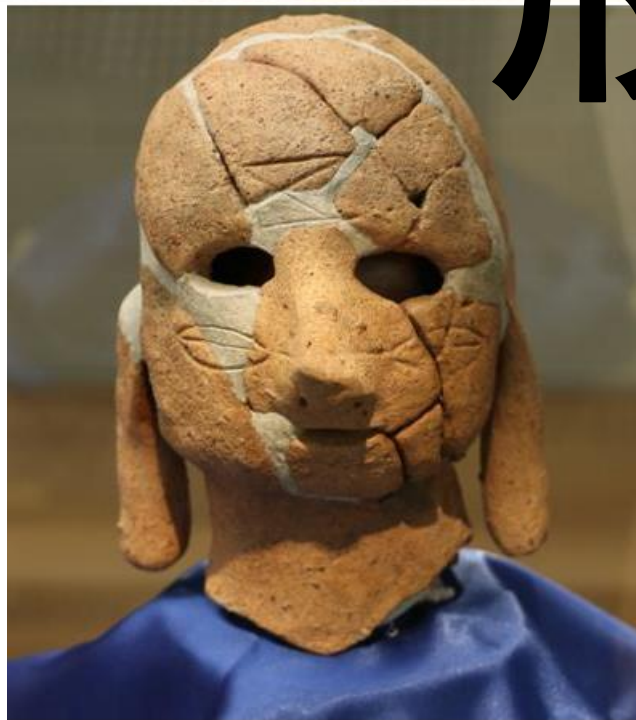


器材埴輪





形象埴輪





A. 巫女



C. 樂人



B. 鷹匠



九州では、独自の石の埴輪＝**石人・石馬**も登場。

◀⑫ ^{いわとやま}岩戸山古墳 (福岡県八女市) ^{せきじん}の石人
(左)と ▼⑬ ^{せきば}石馬 (下) ^{あそ}阿蘇溶岩を彫刻
した石の埴輪で、5・6世紀の北部
九州に分布する独自の古墳表飾。

後期

前方後円墳

なぜ、後期古墳は、多様で地域的な特色が強くなったのか？

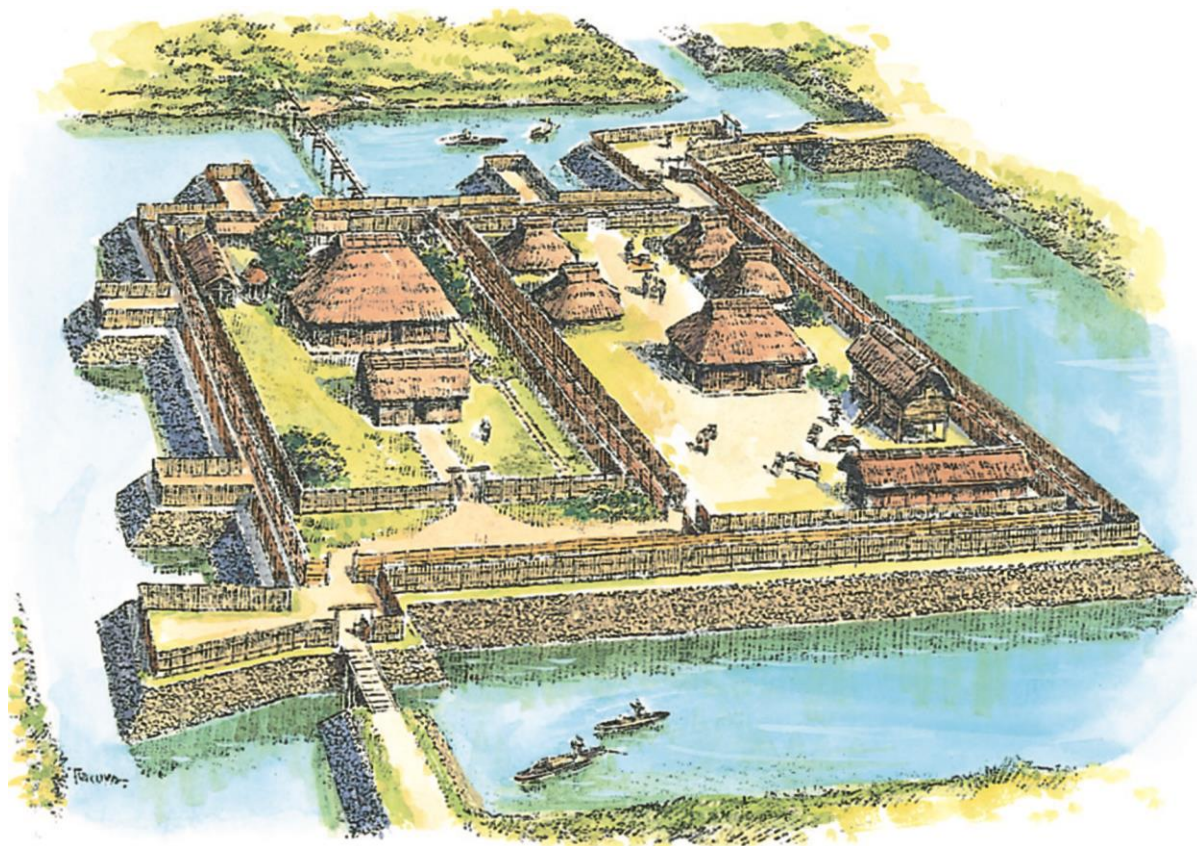
6世紀以降、大きな豪族居館の遺構が出現してくる。

豪族

民衆の集落から離れた場所に、周囲に環濠や柵列をめぐらした居館を営む。

民衆

複数の**竪穴住居**と平地住居、高床倉庫などで構成される集落に住む。



古墳時代の豪族居館の復元図

(2) 新たなタイプの墳丘墓が出現した。

- ・ 無数の小古墳が集まった**群集墳** ex) 新沢千塚古墳群 (奈良)
- ・ 山の斜面に掘り込んだ**横穴墓** ex) 吉見百穴(埼玉県)



Q. 群集墳や横穴墓を作ったのは、どのような人たちだろう？

A. 経済的に豊かになってきた有力農民層が作った。

問 教科書 p 27- p 29と資料集 p 42- 4 3を読んで、以下のテーマについて説明しなさい。

1 .ヤマト政権は、輸入した鉄を使って何をしたか。

【解法】資料集p42 ヒストリースコープを参照しよう。

2 .5世紀ヤマト政権は、鉄以外に渡来人からどんな技術・文化を積極的に吸収し、何に役立てたか。まとめなさい。【ヒント】高句麗に敗北した倭が、まず力を入れたのは？

①技術面では…

(解法) 馬を飼育するために、(誰) から (どんな技術)を学んだ。
鉄を…

②文化面では…【ヒント】6世紀になると、軍事・産業だけでなく、国づくりのための広い知識を学ぶようになる。それは？

(解法) 文字→渡来人の (誰) (誰) に (何) 氏・(何) 氏を与え、(仕事集団名)
として役立てた。

儒教→百済から (誰) を招き、(何) 学を学んだ。

自然科学→百済から…

宗教→百済の(誰) 王から倭の (誰) 天皇に…

まとめと振り返り

1. 渡来人と大陸文化

朝鮮半島からの渡来人によって進んだ技術や文化が伝えられ、ヤマト政権も技術者集団として用いた。さらに、漢字の使用が始まった。

2. 東洋思想の伝来

6世紀には、百済から仏教や儒教が伝えられ、のちの日本人の思想に大きな影響を与えた。また、ヤマト政権の神話や伝承が成立した。

3. 古墳文化の変化

後期古墳は、横穴式石室が一般化し、石人・石馬、装飾古墳、群集墳がつくられるなど地域的特色が強くなった。また、ヤマトの大王を中心とする近畿勢力に地方豪族が服属するようになり、前方後円墳は作られなくなった。。